



「子供の**主体性**を高めるために

～大人の意識を変え取組の質を高める～

問題提起



- 「進んで」…子供の主体性=教育の柱
- 「伸びない子」ではなく、「伸ばしきれない大人の対応」
- 子供が社会に出る再現性を高める必要
- 子供にどう手をかけるかではなく、どう手を離していくか

授業の中で、「考え、判断する」場面をつくる。

子供ががんばらないで結果を出すようなことはしない。

地域として子供を見守る環境を整え、大人の理解者を増やす。

保護者の主体性を信じたPTA組織の改編している。

小、中、高…と保護者が伝えることは違うので成長に合わせて語り、大人の背中で見せる。



熟

心配で手を出したくなるが、子供に任せることは、任せる。

議

あえて失敗させることも大切。失敗したことで学ぶ。

最初からフォローするのではなく「あなたならどうする？」と問う。

自分のことを主張する、思いを語る場面とそれを受け止める大人。

人は失敗することで成長することを大人にも広める。

「任せる」「見守る」「失敗経験を生かす」

⇒必ず**成長**につながる、子供は**できる**